

Mt. Paekdu

主催・東北大学総合学術博物館・東北大学東北アジア研究センター・仙台市科学館
協力・東北大学大学院理学研究科・東北大学大学院農学研究科・防災科学技術研究所



中国・朝鮮国境の
大活火山

白頭山の謎

はくとうさん

公開講演会

「日中朝韓が取りまく
大活火山 白頭山」

詳細は裏面へ

お問い合わせ
東北大学
総合学術博物館
022-795-6767

TUE SUN

宮城県仙台市青葉区台原森林公園4番1号 TEL 022-276-2201

2008
10/7~26

仙台市科学館
3F エントランスホール

入場
無料

開館 9:00~16:45
(入館は16:00まで)

10/20と10/23休館

時は 10 世紀、有史以来最大級の火山爆発を起こした山、それが、中国と朝鮮との国境に位置する大活火山、白頭山（中国名：長白山）です。噴火による総噴出物量は 100 km³ 以上、火砕流は火口から 50km をおおいつくすほどの規模だったと考えられています。しかし、中国や朝鮮の古文書には、なぜか一切記述がありません。中国と朝鮮に住む人々は、史実としては記録されていないこの巨大噴火を、伝承として語り継ぎました。噴火の炎は火の魔人、黒煙は龍となり、話の中を駆けめぐり、やがて、神秘のこの山は民族の発祥の地として「聖なる山」とされていきます。私たち日中朝韓の共同プロジェクトは、白頭山の伝承を自然科学的にひも解くことから始め、巨大噴火の解明、近年不気味な地殻変動を見せている現在の白頭山を調査してきました。次の噴火はいつなのか？ 私たちの最新の研究成果をぜひご覧ください。

十世紀噴火の謎

伝承として語りつがれた大噴火。
どうして史実に残されなかったのか？

領土問題、歴史認識
問題に解明を妨げられる
伝説の山

政治的な面での謎

これからの噴火についての謎

噴火の前兆をあらわす現在の白頭山。
次の巨大噴火はいつ来るのか？

白頭山はくとうさんの謎

中国・朝鮮国境の大活火山

受講無料・お申込不要
公開講演会

10/SUN
/19

地下鉄旭ヶ丘駅前
仙台市青年文化センター
2Fエッグホール
14:00～15:00

東北大学東北アジア
研究センター名誉教授 谷口宏充

日中朝韓が取りまく大活火山 白頭山

白頭山の噴火は渤海王国を滅ぼしたのか？ 謎を解明しようとする私たちの前に立ちはだかる国境の壁。日中朝韓の共同プロジェクトとして何が理解できたのか。そして、私たちが今後進むべき道を探ります。